

# 動物用医薬品

平成30年1月作成

貯法 遮光・密封容器、室温保存

承認指令書番号 23動薬第3081号  
販売開始 昭和51年7月

## メンブトン製剤

使用基準

# 動物用 **エンドコール**<sup>®</sup> 注

### 【成分及び分量】

品名	動物用エンドコール注
有効成分	メンブトン
含量	1mL中100mg

### 【効能又は効果】

牛：胃腸カタル、第一胃食滞  
豚：単純性下痢症

### 【用法及び用量】

通常、1日1回、2~3日間体重1kg当りメンブトンとして下記の量を筋肉内に注射する。  
牛：5~10 mg (製剤として0.05~0.1mL)  
豚 (10~60日齢)  
：10~20mg (製剤として0.1~0.2mL)

### 【使用上の注意】

(基本的事項)

#### 1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は、獣医師の指導の下で使用すること。
- ・本剤は、効能・効果において定められた目的のみ使用すること。
- ・本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物[牛、豚(生後2月を超えるものを除く)]について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。

牛：食用に供するためにと殺する前25日間又は食用に供するために搾乳する前72時間

豚(生後2月を超えるものを除く)：食用に供するためにと殺する前6日間

(牛及び豚に関する注意)

- ・本剤は、生後10日齢以下の子豚及び60日齢を越える豚には使用しないこと。

- ・本剤は、子豚で、ときに一過性の赤血球減少を起すことがあるので、貧血症状が重度の子豚に投与するときは獣医師に相談すること。
- ・本剤は、所定量を筋肉内に確実に投与すること。
- ・本剤は、静脈内投与による一過性の降圧作用がみられることがあるので、静脈内に投与しないこと。

(取扱い上の注意)

- ・使用期限を過ぎたものは使用しないこと。
- ・本剤はカルシウム塩(例えば、グルコン酸カルシウム又はボログルコン酸カルシウム)を含む製剤、プロカインペニシリンを含む製剤、他のビタミンB複合剤等の酸性注射液と混ぜて使用しないこと。
- ・注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は、使用しないこと(ガス滅菌によるものを除く)。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い、処分すること。
- ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は、直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れ替えないこと。

#### 2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。なお、本剤の添付文書を持参することが望ましい。

(牛及び豚に関する注意)

- ・本剤は、牛で、ときに注射部位に発赤腫脹を起すことがある。
- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

(専門的事項)

①重要な基本的注意

- ・本剤は、子豚で、ときに一過性の赤血球減少を起すことがあるので、貧血症状が重度の子豚に投与するときは、赤血球数のモニタリングを行う等、慎重に投与すること。

【薬理学的情報】

(薬効薬理)

本剤は、消化管の分泌機能に刺激作用を及ぼし、胆汁、膵液、胃液の分泌量、及び消化酵素活性を高め、また胃内の恒常性を回復します。

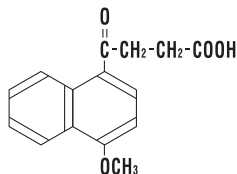
1. 胆汁・膵液・胃液の分泌促進作用

		牛	豚	山羊	モルモット
胆汁	分泌量	3.0～6.0倍	2.0倍	1.4～3.4倍	1.2～1.6倍
	乾燥物色澤成分	単位量当たりほぼ一定	単位量当たりほぼ一定	単位量当たりほぼ一定	単位量当たりほぼ一定
膵液	分泌量	3.0～6.0倍	2.0～5.0倍	1.2～1.9倍	—
	成分下リブ	4.0～9.0倍	6.0～19.0倍	1.8～3.6倍	—
胃液	分泌量	—	—	—	4.5倍
	ヘプシン	—	—	—	5.0倍

2. 異常な第一胃内容を改善し、胃液のpH、粘稠性、VFA濃度、アンモニア濃度等を正常化します。

(有効成分の理化学的知見)

化学構造式



一般名：メンブトン  
mebutone

化学名：1-methoxy-4-naphthoylpropionic acid

分子式：C<sub>15</sub>H<sub>14</sub>O<sub>4</sub>

分子量：258.28

融点：176～178℃

性状：メンブトンは白色～淡黄色の結晶又は結晶性の粉末で、においはない。希硫酸化ナトリウム試液、アセトンにやや溶けにくく、氷酢酸、メタノールに溶けにくく、エタノール、エーテルに極めて溶けにくく、水にはほとんど溶けない。

【包装】

100mL 1バイアル

【使用期限】

外箱・ラベルに記載

【製品情報お問い合わせ先】


ベーリンガーインゲルハイム  
アニマルヘルス ジャパン株式会社  
〒141-6017 東京都品川区大崎2-1-1  
TEL 03-6417-2800

販売元

 日本全薬工業株式会社

ZENOAQ 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

製造販売元

 Boehringer Ingelheim  
ベーリンガーインゲルハイム  
アニマルヘルス ジャパン株式会社  
東京都品川区大崎 2-1-1

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所(<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。